

第4章 知的財産の戦略的活用のためのアクション・プラン

第3章の基本戦略の実現に向けて、取組の方向性にもとづき、支援策（アクション・プラン）を展開していく。

【アクション・プラン 全体像】

1. 企業に知的財産への「気づき」を与える支援

- 1-1 読みやすい・親しみやすいリーフレット、手引書の作成・配布
- 1-2 知財総合支援窓口メニューブックの作成
- 1-3 知財活動と事業活動の連携の重要性等を訴求するコンテンツの製作
- 1-4 企業交流グループを対象とした知財セミナーの実施
- 1-5 知財初心者向けセミナー等の開催

2. 企業の知財活動を「成果につなげる」ための支援

- 2-1 知的財産の戦略的活用に向けた、近畿知財塾やワークショップ等の開催
- 2-2 知財総合支援窓口を活用したオーダーメイド型セミナー等の実施
- 2-3 特許等を有する製品やデザイン製品の販路開拓支援事業の実施
- 2-4 経営に知財活動を取り入れた先進事例の紹介事業の実施
- 2-5 知財ビジネスマッチング事業の継続

3. 知財活動の高度化で企業が「飛躍する」ための支援

- 3-1 海外展開を行う中小企業向けワークショップ等の開催
- 3-2 中小・ベンチャー企業の海外展開時の知財戦略、知財活動に関する実態調査の実施
- 3-3 海外展開を行う中小企業向けの知財戦略、知財活動に関する情報提供

4. 知財活動支援ネットワークを強化するための支援

- 4-1 支援機関向け知財セミナーの開催
- 4-2 知財総合支援窓口が主催する連携会議の参加機関の拡大
- 4-3 提案型公募事業等における知財活用に関する支援機関によるフォローの強化
- 4-4 知財活用の先進企業や専門家等とのネットワークの構築

【アクション・プラン 詳細】

1. 企業に知的財産への「気づき」を与える支援

「知的財産は難しい」、「我が社の事業活動では知的財産との関連性を感じない」という企業の思い込みや誤解を解き、事業活動の活発化に向けて知的財産を経営に取り込んでいく企業を新たに発掘・創出するための支援を行う。

1-1. 読みやすい・親しみやすいリーフレット、手引書の作成・配布

営業秘密の保護や人材育成、営業活動強化につながる知財活動、経営課題に効く知的財産の効果などについて、4コマ漫画やイラストを駆使した説明や、取組状況を確認する簡易チェックリスト表の掲載等により、読みやすさ・親しみやすさを重視したリーフレット、手引書を作成し、各地の産業支援機関等の協力を得て、地域の中小企業へ配布する。

1-2. 知財総合支援窓口メニューブックの作成、配布

中小企業の知財活動に関する相談をワンストップで行う知財総合支援窓口の支援メニューを網羅的かつ平易にとりまとめた冊子を作成し、地域の中小企業及び産業支援機関等に配布する。

1-3. 知財活動と事業活動の連携の重要性等を訴求するコンテンツの製作

中小企業の経営者や研究者・開発者、営業担当者等が、知財活動と事業活動の連携の重要性を身近な課題として感じてもらうため、知財活用による売上げアップや新事業展開等、企業活動にもたらした効果の事例の紹介等を映像やHPへの掲載等により発信する。

1-4. 企業交流グループを対象とした知財セミナーの実施

商工会議所・商工会の青年部や公設試験研究機関の研究会等の企業交流グループを対象とした知財セミナーを開催し、経営者や後継者等に知財活動と事業活動の連携の重要性の啓発や知的財産関連の支援策の普及に努める。

1-5. 知財初心者向けセミナー等の開催

知的財産の法律用語や専門用語が中小企業に知的財産を「難しいもの」とのイメージを与えていることから、中小企業の経営者や社員、デザイナー等が関心を持つテーマについて、明日からすぐに使えるような知財の有効活用に関する情報を織り交ぜた初心者向け知財セミナー等を開催する。

テーマ例

・取引先の開発情報の賢い取り方	・円滑な事業承継
・自社ブランドの構築	・デザインを守る

2. 企業の知財活動を「成果につなげる」ための支援

企業の知財活動が、ビジネス・ソリューションの提案力強化や販路の開拓・拡大などへと実を結び、戦略的な知財活用に取り組めるようにするための支援を行う。

2-1. 知的財産の戦略的活用に向けた、近畿知財ワークショップ等の開催

中小企業が、知的財産を事業活動に効果的かつ戦略的に活用できるようにするため、知的財産をめぐる多様なテーマ別、社内の階層別や知財の理解度別等、ターゲットを絞り、講師と参加者間のディスカッション取り入れたワークショップや近畿知財塾を開催する。

- テーマ例
- ・営業ツールに活用できるパテントマップの作成
 - ・業務内容等に応じた社内知財教育（営業担当・研究開発部門・経営者等）
 - ・知的財産権ミックス

2-2. 知財総合支援窓口を活用した、オーダーメイド型セミナー等の実施

知財総合支援窓口の企業訪問の機会を捉えて、企業の要望に応じた社員向けのセミナーや経営アドバイス等を実施する。

2-3. 特許等を有する製品やデザイン製品の販路開拓支援事業の実施

特許権等の新たな技術を有する製品や、デザイン製品のブラッシュアップを、製品・サービスの開発企業と専門家とのコラボレーションにより、国内外の展示会への出展等、販路開拓を行う。

2-4. 経営に知財活動を取り入れた先進事例の紹介事業の実施

知財活動と事業活動の連携を実践する取り組みやヒット商品及びサービスを HP 等で紹介する。

2-5. 知財ビジネスマッチング事業の継続

知財ビジネスマッチング事業は、知財活動への関心が比較的低かった受注生産型の中小企業にとって大企業から許諾された特許を活用した自社製品を開発することが知的財産に関心を持つきっかけにもなっており、また、大企業、金融機関、産業支援機関の連携促進の実践の場としても有効であることから、引き続き実施する。

3. 知財活動の高度化で企業が「飛躍する」ための支援

経済環境変化の中でも企業の関心が高まっている海外展開を中心に、費用対効果を意識しつつ、企業がより飛躍するための知財活動の実践が可能となるように支援を行う。

3-1. 海外展開を行う中小企業向けワークショップ等の開催

海外展開を行う中小企業が直面する多様なテーマに対し、講師と参加者間のディスカッションを取り入れたワークショップを開催する。

テーマ例 ・ 国別の知財制度と対策

- ・ 中国ビジネスにおける知財活用の成功例
- ・ 自社による海外特許等の簡易検索
- ・ 国際標準化を活用した海外展開

3-2. 中小・ベンチャー企業の海外展開時の知財戦略、知財活動に関する実態調査の実施

中小企業の海外展開時における知財戦略や知財活動の実態について把握・分析を行い、海外展開をする上での効果的な知財戦略、知財活動を実践するためのポイントや成功事例について調査する。

3-3. 海外展開を行う中小企業向けの知財戦略、知財活動に関する情報提供

海外展開を行う中小企業の海外知財戦略の構築に必要な、事業戦略に応じた効果的な知的財産の防衛方法や海外技術調査の方法等を取りまとめた冊子等により情報提供を行う。

4. 知財活動支援ネットワークを強化するための支援

地域の産業支援機関や企業支援人材、金融機関等が、企業における知財活動の意義を理解し、さらに、事業活動の活発化に向けて知的財産を経営に新たに取り込む企業や、より戦略的な知財活動の展開を模索する企業を発掘・創出するネットワーク形成に向けて、支援活動を行う。

4-1. 支援機関向け知財セミナーの開催

中小企業の経営相談先である金融機関、税理士、公認会計士、中小企業診断士、商工会議所・商工会等の支援機関を対象に、知財活動と事業活動の連携の有用性を訴求する知財セミナーを各地で開催し、支援策の活用による中小企業の知財活動の推進を図る。

4-2. 知財総合支援窓口が主催する連携会議の参加機関の拡大

知財総合支援窓口が主催する連携会議の参加機関を、税理士、公認会計士、中小企業診断士等にも拡大する。

4-3. 提案型公募事業等における知財活用に関する支援機関によるフォローの強化

近畿経済産業局等が実施する提案型公募事業等の支援事業において、知財総合支援窓口や連携機関が応募企業の知財活動を継続的に支援する。

4-4. 知財活用の先進企業や専門家等とのネットワークの構築

産業支援機関や中小企業等に対して知財活用の有用性等を伝える伝道師的な役割や、近畿地域の知財支援施策に対するアドバイザーの役割等を担う、知財活動の先進企業の経営者や専門家等のネットワークを構築する。